

6北森一第116号-1

令和6年8月27日

井原水産 株式会社 様

北海道森林管理局長

「法人の森林」による環境貢献度のお知らせについて

平素より国有林野事業における森林整備に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、貴社御契約の「法人の森林」による環境貢献度につきまして、林野庁で定めております評価方法に基づき、令和5年度の環境貢献度を別紙のとおり計算いたしましたのでお知らせします。

今後とも、引き続き国有林野事業への御理解、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

北海道札幌市中央区宮の森3条7丁目70  
担当：森林整備第一課 片岡、中山  
TEL：011-622-5218  
E-mail：h\_seibil@maff.go.jp



(別紙)

### (1) 契約内容

契約箇所：北海道森林管理局 留萌南部森林管理署 留萌国有林177ろ林小班  
面積：4.23 ha  
持分割合：契約者13：国5.58  
主な樹種：トドマツ

### (2) 評価額・物量結果(単年評価)

測定項目	評価項目	年間効果評価額(千円)	物量
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	250	0.0675m <sup>3</sup> /sec
	流域貯水 <sup>かん</sup> 便益	57	1,707m <sup>3</sup>
	水質浄化便益	218	1,707m <sup>3</sup>
山地保全便益	土砂流出防止便益	320	55m <sup>3</sup>
環境保全便益	炭素固定便益	118	21.3 CO <sub>2</sub> t

注) 各便益の説明は別添のとおりです。

### (3) 参考資料

御社の契約森林について、持分割合を考慮して、1年間の効果を換算した結果は以下のとおりです。

#### ① 水源涵養<sup>かん</sup>便益(水源涵養<sup>かん</sup>便益のうち流域貯水<sup>かん</sup>便益及び水質浄化便益)

森林は、森林内に一時的に水を貯め、森林外にゆっくり流すことにより、河川の流量を平準化し、洪水や濁水の緩和、水質の浄化に役立っています。これらの働きは、森林がない状態と比べて、森林があることにより増加した水の浸透量で計算されます。

流域貯水量 水質浄化量	2リットル入りペットボトル 853 千本分 (1,707 m <sup>3</sup> /年)
----------------	---

#### ② 山地保全便益(土砂流出防止便益)

森林は、落ち葉や森林内の植生によって土壌が覆われ、雨水による土壌の浸食や流出を防いでいます。この働きは、森林がない状態と比べて、森林があることにより減少した流出土砂量で計算されます。

土砂流出防止量	1.0 t ダンプトラック(5.5m <sup>3</sup> /台) 10 台分 (55 m <sup>3</sup> /年)
---------	--

#### ③ 環境保全便益(炭素固定便益)

森林の樹木は、光合成を行うことにより、大気中の二酸化炭素を吸収して、有機物を生成し、樹木の幹等に貯蔵し、地球温暖化の防止に寄与しています。この働きは、幹の体積の成長から推計できます。

二酸化炭素吸収・固定量	ヒト1人が1年間に排出するCO <sub>2</sub> 67 人分 (CO <sub>2</sub> 21.3 t/年)
-------------	---